



糸原 壽之 議員

質問

「あめつち」受け入れ体制は

町長

情報の共有の場を検討

**質問** 木次線観光誘客プロジェクトチームのメンバー構成は、また奥出雲町の受け入れ体制は。

町長 木次線観光誘客プロジェクトチームは、木次線利活用推進協議会を母体として、JR西日本山陰

支社、雲南市、奥出雲町、松江市、庄原市、島根県、広島県、日本旅行、沿線の観光協会である。まずは

情報の共有の場をもちながら、対応していく。

**質問** いよいよ2024年から運行する「あめつち」。地域にとってベストな運行ダイヤは、どのように考えるか。

町長 「あめつち」がこれから実際に入ってくるということに向けて、検討を行う。試験運行も予定されているということから、それに向けても準備を進めて、受け入れのリハールサルも検討する必要があるという認識でいる。

**質問** 横田での待ち時間の間に、二次交通手段として奥出雲交通のバスをあてたらと考えるが。

町長 JR西日本の運行(案)では横田駅で停車時間は45分と聞いている。片道で在来線との乗り継ぎでは時間がとれるが、往復の場合短いと意を聞いています。今後、JRと協議をしたいと考えている。

町長 横田でのさまざまな乗降ケースを想定すると、必要と考える。いずれにしても、奥出雲交通やタクシー事業者、観光協会と協議しながら、様々なプランをお客様に提示していきたいらと考える。



車内客室



JR西日本ホームページから引用

2024年から木次線へ運行予定の「あめつち」



物販カウンター